

小さい事に忠実な人は、大きい事にも忠実であり、小さい事に不忠実な人は、大きい事にも不忠実です。ルカ16:10

## 2017(29)年 週 報

1月29日

「信仰の大盾」

第5聖日

第3492号

聖  
言

これらすべてのものの上に、信仰の大盾を取りなさい。それによって、悪い者が放つ火矢を、みな消すことができます。 エペソ6:16

主の弟子となる

第四課 心の一新 文献に当たる

「あなたがたのからだを、神に受け入れられる、聖い、生きた供え物としてささげなさい。」(ローマ二ノ一、二) 私たちは、神が望まれるように変えられると、自分にとつて神のみ旨は完全であり、この世が提供する人生よりもはるかに豊かな生き方だとわかるのです。

変革されるという考えは非常に重要であり、はっきり分かるものです。ギリシャ語のメタモルフィゾーという言葉は、英語の metamorphosis (変態) の語源です。それは、文字通りには、芋虫が蝶に変わる過程を言います。この聖句は、私たちが自分の分を果たしつつ、つまり積極的に自分の思い一新していく一方で、誰か他の人に私たちを変革してもらおうという意味も含めて書かれています。私たちが、この世の方法ではなく、キリストの方法で心の思いを変革していくならば、神である聖霊が私たちを次第にキリストに似た者と変えてくださるのです(比較コリント三ノ一六〜一八)。私たちは、どのように心の思いを変えるのでしょうか。神の言葉である聖書に記されている御霊に属することに思いを集中することによってです。もし、私たちがこの世の哲学や原則に心を留めるなら、この世は私たちをこの世の枠に強制的に当てはめようとしています。

(C-B主の弟子)

祈りのお願い

教会の後継者、神学生があたえられるように一つ心になって互いに従順に神と人々に仕えるように

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru\_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一七年一月二三日午前二〇時 礼拝大嶋善直牧師

「足には平和の福音の備えを履く」

「足には平和の福音の備えを履きなさい。」(エペソ六ノ一五)

「いいですか。わたしが、あなたがたを遣わすのは狼の中に羊を送り出すようなものです。ですから、蛇のように聴く、鳩のようにすなおでありなさい。」(マタイ一〇:二三)

「エペソはギリシャ文化の盛んなところであった。誘惑で満ちていた。クリスチャンと新しく生まれても、過去の古い人が出てきて、世の樂しみに戻ってしまふ。大きなリバイバルによって、教会が成長したが、すぐに墮落してしまふ。そのために大切なのは大地にしっかりと足をつけて歩まなければならない。しかし、大地はいつも安定しているわけではない。冬のように凍結することもある。滑ってしまう。昔は繩を足に巻いて滑らないようにした。ローマ兵はサンダルに釘を打ちつけてすべらないようにした。クリスチャンは、心に救いときよめの確信と喜びに満たされている必要がある。そうでないと、あまりにも世のなかのことにとられすぎて、なんのために生きているのかわからなくなる。ノンクリスチャンを見てうらやましくなる。そして、ちようど、エバヤンにその命を破つて、神様のごとく賢くなりたいた願いと、神様の命令を破つて、私たちは、動かされることのない、世に負けてしまふ。私たちは、動かされることのない、キリストの十字架の上に土台に立てられているのである。たとえ、ありとあらゆる、試練や問題がつぎから、次へと襲ってきて、呪いやたりでなく、一つ一つの神様の意味があり、また、それらに打ち勝つ神様の救いの道がある。それが足取りのしつかりとした堅固さである。その上で、「良い知らせを伝える者の足は山々の上にあつて、なんと美しいことよ。平和を告げ知らせ、あなたの良い知らせを伝え、救いを告げ知らせ、あなたの

神が王となる。」とシオンに言う者のあしは。」「(イザヤ二九:二三)。「それからクリストは来られて、遠くにいたあなたに平和を宣べ、近くにいた人たちにも平和を宣べられた。」(エペソ二:17)。「という福音宣教の働きが前進するのである。」

二〇一七年一月二五日午後六時半 祈祷会 山本稔牧師

「心を尽くし断食と涙と嘆きとをもって主に立ち返る」

「あなたがたの着物ではなく、あなたがたの心を引き裂け。」

(ヨエル二ノ一三)

「はこうしてすべての民が集まったときに祭司たちが代表して「神殿の玄関の間と祭壇との間」で三つのことを祈った。「あわれんでください」「ゆずりの地をそしりとししないでください」「諸国の民の物笑いの種とししないでください。」です。」

ヨナ三:「王と大臣たちの命令によって、次のような布告が二ネベに出された。「人も、獣も、牛も、羊もみな、何も味わってはならない。草をはんだり、水も飲んだりしてはならない。．．．まして、わたしは、この大きな町、二ネベを惜しまないでいられようか。そこには、右も左もわきまえない」2万人以上の人間と、数多きの家畜とがいるではないか。」(ヨナ三:7, 4:11)。

悔い改めの大切さ。人間は外側ですみませんといっても、心からでないのが、また悪いことをする。神様は心からの悔い改めを求めておられる。放蕩息子の悔い改め(ルカ一五)。

取税人の悔い改め「ところが、取税人は遠く離れて立ち、目を天に向けようとせず、自分の胸をたたいて言った。「神様、こんな罪びとの私をあわれんでください。」(ルカ一八ノ一二)。

## 二月行事計画

- 三日(金) 月一回の楽しいお祈り会 午後一時  
 五日(日) 予算役員会  
 一七日(金) 納骨堂掃除 午前一〇時  
 一九日(日) オープン礼拝 大嶋善直牧師 午前一〇時  
 二三日(木) 森田兄湊川公園伝道参加 午後二時  
 (ホームレス救援献金と献品)  
 二四日(金) 大日丘集会 午後五時  
 二四日(金) 大日丘集会 レント  
 二七日(月) 説教塾 神港教会 午前十一時  
 二月会計役員 山村姉 庄司姉 榎原姉 石橋姉  
 二月召天会員  
 大串 昇兄二日 六周  
 浜田春雄兄三日二〇周  
 前川雪子姉四日二三周  
 山川岩男兄五日七二周  
 小段夏子姉六日七三周  
 長田よし子姉六日一七周  
 加島ヨシコ姉九日 七周  
 白数陽子姉一六日二九周  
 山川作次郎兄一七日七一週  
 石橋宏美姉 一七日一周  
 中村丈吉兄一九日三二周  
 桑田猶次兄二一日五五周  
 高橋正雄兄二八日 二周

※ 召天会員御遺族は納骨堂のお掃除をお願いします。

## 観光DFC学生短期宣教チーム来日

一月一九日(二二日)  
 学生宣教師十一名(男二名 女九名) 来日早々尾瀬姉の前夜式に参加し翌日の告別式には奏楽の演奏をしてくださる。続いて教会の四階からガレージまで掃除をして、二日は朝七時から駅前ギターで路傍伝道をして、昼からもトラクト配布で千八百枚を全部配ってくれた。二二日の礼拝の奏楽の演奏をして、午後からのフールドフェスティバル(韓国料理 キンパ巻き寿司、トッポギ餅チジミお好み焼き)を沢山つくってください、おながが満腹になって後、賛美とダンスを会衆と輪になって楽しむ。榎原兄と亀田兄も独唱とギターで参加する。教員、新しい家族四名、男女二名も参加。なにもかも、即席であり、尾瀬姉の葬儀もあるなかでの集会であったが、祝される。  
 続いて二三日には孔先生により「日本の有名な教会を見学したい。」という四名の韓国の牧師を連れて来られる。四名は韓国の農村地帯の教会で牧会されていて、ともに協力して東南アジアの宣教をしたいと願う。教会の四〇年記念誌を贈呈する。夜は温泉に行き裸の付き合いをする。